

(1) ねらい

いろいろな四角形をつくり、それらを分類する活動を通して、「台形」、「平行四辺形」の用語とそれらの定義を理解し、四角形の特徴を見て分類できる。

(2) 評価規準

辺の平行関係に着目して、四角形を分類することができる。(知識・技能)

(3) 学習展開 (6 / 15)

過程	学習活動	指導・援助(留意点)
導入	<p>1 問題を読んで課題をもつ。</p> <p>2 学習課題を確認する。 四角形をかいて、なかま分けしよう。</p> <p>3 課題解決の見通しを立てる。 ・Chromebook の操作と書き込む Jamboard のシートを確認する。</p> <p>4 点と点を直線で結んで、四角形を個人でつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 四角形の定義を確認する。 「4つの直線で囲まれた図形」 既習の四角形(長方形、正方形)以外の形があることに気付かせ、分類することで新たな形を判断できるように見通しをもたせる。 直線の書き方(Shift を押しながら指で操作する)を全体で確認する。
展開	<p>5 作った四角形を全体で交流する。 ・どのように考えてなかま分けをしたか、発表する。</p> <p>6 出てきた四角形を平行四辺形、台形、その他の3種類に分類する。 ・図形の拡大縮小、回転機能を聞き、自分の考えた基準で四角形を分類する。</p>	<p>【ICT活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 間違えたとしてもすぐに消すことができる。簡単に四角形をかくことができる。 ページの複製が容易なので、必要な分を複製できる。
終末	<p>7 自分の考え(分け方)を全体で交流する。 ・回してみたら、プリンみたいな形になったから同じ種類だと思う。 ・平行な線が何組あるかを見れば、分けることができる。</p> <p>8 学習をまとめる。 向かい合う1組の辺が平行な四角形を台形という。向かい合う2組の辺がどちらも平行になっている四角形を平行四辺形という。</p> <p>9 本時の学習を振り返る。 ・自分が作った四角形がどの種類に分類できるかを Jamboard に書き込み、確認する。</p>	<p>【ICT活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> Classroom で6つの四角形を児童に配付し、画面共有にて操作方法を説明する。 配付された資料を自分で回してみたり、重ねたりして自由に操作し、自分の考えた分類を繰り返し行い、共通点を確認することができる。 <ul style="list-style-type: none"> 図と関連付けて説明できるように働きかけ、付け足しや再度言い直すことで、友だちの考えを聞くだけでなく、自分の考えと比較したり、自分の言葉で話したりできるようにする。